

SRE エンジニアの年収

800 万～1,500 万円の実態

なぜ高い？ 正社員・フリーランス比較と年収アップ戦略

正社員 800 万～1,000 万円・フリーランス月単価 80 万～130 万円の全データ



SRE って本当に年収高いんでしょか？

高い理由と戦略を全部教えてやろう





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● SRE エンジニアとは? 求められるスキル



クラウド基盤

AWS ・ GCP ・ Azure 。クラウドネイティブな設計 ・ 運用が必須



IaC & コンテナ

Terraform ・ Kubernetes ・ Docker でインフラをコード管理



開発力+監視

Go ・ Python を書きながら Datadog ・ Prometheus で監視設計

インフラ × 開発 × 監視の3領域をカバーできる希少人材

● 年収が高い 3 つの構造的理由



人材不足

DX 推進人材が「大幅不足」と回答した企業は 62.1% (IPA 2024)



スキルの複合性

インフラ × 開発 × 監視 × 自動化と多領域の高度専門性が必要



ビジネスインパクト

SLO/SLA でサービス信頼性を担保。ダウンは直接売上損失につながる

「希少性」 × 「スキル複合性」 × 「ビジネス直結」の 3 重構造が高年収を生む



● 経験年数別 年収相場

～5年（ジュニア～ミドル）

年収レンジ

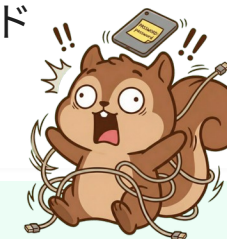
- ・ 未経験～1年： 400万～550万円
- ・ 3～5年： 600万～800万円
- ・ 監視運用・IaC設計担当が中心

VS

5年～（シニア～リード）

年収レンジ

- ・ 5～10年： 800万～1,200万円
- ・ 10年以上： 1,000万～1,500万円
- ・ アーキテクチャ設計・テックリード



差のポイント



年数だけでなく「どの技術領域を経験したか」が年収差を生む

● 正社員 vs フリーランス 年収比較

正社員

平均年収

- 800万～1,000万円
- 福利厚生・社会保険あり
- 安定した雇用基盤

VS

フリーランス

月額単価相場

- 80万～130万円（年収960万～1,560万円）
- 平均月単価93.5万円（2025年12月）
- リモート案件比率81.8%



差のポイント



フリーランスは社会保険・税金の自己負担あり。手取りで正社員と比較すること

● 企業規模・業界別の年収傾向

高年収ゾーン



外資系テック

Google・Amazon等：1,200万～2,000万円超。RSU込みで高水準、英語力必須



メガベンチャー

メルカリ・サイバーエージェント等：800万～1,500万円。成果主義の傾向

標準～安定ゾーン



Sler・事業会社

600万～900万円。年功序列が残りスキルがあっても頭打ちになりやすい



選び方のコツ

転職先の給与体系・評価制度まで事前に調べる
ことが年収最大化の前提

企業選びで差がつく



● 年収 1,000 万超えのための 5 つの戦略

1

クラウド × IaC スキルを極める

AWS/GCP 認定 + Terraform + Kubernetes。 「設計・構築・改善一貫」 レベルまで深める

2

転職で実績を定量的にアピール

SLO 改善・ MTTR 短縮・ コスト削減を数値化して採用担当に価値を伝える

3

フリーランス・副業で天井を突破

月単価 100 万円超えを目指し収入の上限を取り除く

4

セキュリティ × SRE で希少価値を上げる

DevSecOps ・ ゼロトラスト領域でダブルスキル人材になる

5

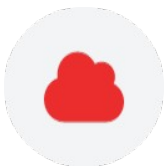
マネジメント・コンサルヘシフト

SRE マネージャー・ IT コンサルで年収 1,200 万～ 1,800 万円を狙う

どれかひとつでも実行すれば変わる



● クラウド × IaC スキルスタックを極める



最優先スキル

AWS/GCP 認定資格 + Terraform。ほぼすべての SRE 求人で必須要件として記載される



差別化スキル

Kubernetes 実務 + Datadog/Prometheus によるオブザーバビリティ設計・構築



優先度

「使ったことがある」から「設計・構築・運用改善まで一貫担当」へ深める

● セキュリティ × SRE で希少価値を最大化



需要の背景

日本のセキュリティ人材は約 11 万人不足（総務省 2024）。クラウドセキュリティが特に急務



評価される領域

DevSecOps ・ゼロトラスト ・コンプライアンス自動化 ・クラウドセキュリティ設計



本質

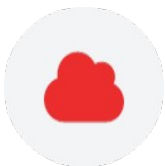
SRE + セキュリティのダブルスキル人材は市場に少なく、高い報酬が提示される

● SRE の需要が伸び続ける 3つの理由



DX 推進の加速

DX 関連投資が 2027 年まで年率 15% 以上で成長見込み（IDC Japan）



クラウドネイティブ化

オンプレ→クラウド移行で SRE 人材の需要が増え続けている



AI/ML インフラ需要

生成 AI 普及で GPU クラスタ運用・MLOps 知見の SRE 需要が急増



IT 人材不足は 2030 年最大 79 万人と試算（経産省）。SRE は最も供給不足の高度人材カテゴリ

● SRE から広がるキャリアパス 4 選

技術特化パス



SRE アーキテクト

大規模システムの信頼性設計を主導。年収 1,000 万～ 1,500 万円



セキュリティコンサルタント

SRE × セキュリティで企業支援。年収 1,200 万～ 2,000 万円

マネジメント・独立パス



SRE マネージャー

チーム組成・SLO 戦略策定。年収 1,000 万～ 1,500 万円



フリーランス独立

高単価案件を選んで稼働。年収 960 万～ 1,500 万円超

どの道も 1,000 万超えが狙える



● 年収アップに直結するおすすめ資格 5 選

1

AWS 認定 DevOps エンジニア – プロフェッショナル

CI/CD・監視・IaC を証明。学習約 100 ~ 150 時間。書類選考・単価交渉で直接有利

2

CKA (Certified Kubernetes Administrator)

Kubernetes クラスターの構築・運用スキルを証明。学習約 80 ~ 120 時間

3

Google Cloud Professional DevOps Engineer

GCP 上での SRE 実践力を証明。学習約 100 ~ 130 時間

4

CKAD (Certified Kubernetes Application Developer)

Kubernetes 上でのアプリ開発力を証明。学習約 60 ~ 100 時間

5

情報処理安全確保支援士

セキュリティ国家資格。DevSecOps 志向なら取得を検討。学習約 150 ~ 200 時間

資格は手段。
実務に活かすことが目的だ



● 未経験・インフラエンジニアから SRE になるステップ



STEP 1～2

Go/Python 習得 → Terraform で IaC 実践。個人 AWS アカウントで今すぐ始められる



STEP 3～4

Docker → Kubernetes 習得 → Prometheus/Grafana で SLI/SLO 監視基盤を構築



副業から始める選択肢

インフラ 2～3 年経験があれば転身可。「自動化したい」 SRE マインドが成長を加速する

● まとめ | SRE エンジニアの年収を最大化するために



正社員 800 万～1,000 万円・フリーランス月単価 80 万～130 万円。IT エンジニアの中でもトップクラスの水準



クラウド × IaC のスキルを深め、SLO 改善などの実績を定量化することが年収 1,000 万超えの鍵



セキュリティ × SRE のダブルスキルと DX 拡大により、SRE への需要は今後も拡大し続ける

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

